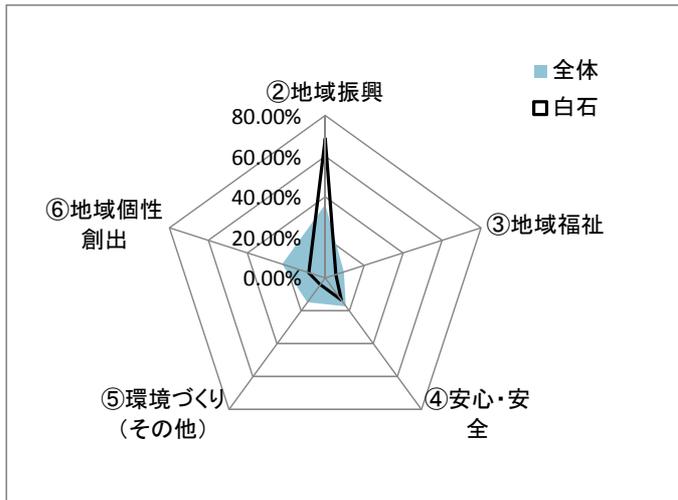


白石地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成25年度決算)



交付金配分枠	9,238,000 円
交付金決算額	7,929,513 円
その他収入	622 円
決算/配分	85.8%

各項目の決算	
①協議会運営	3,601,761 円
②地域振興	2,435,737 円
③地域福祉	196,776 円
④安心・安全	473,469 円
⑤環境づくり(土木工事)	780,000 円
⑤環境づくり(その他)	142,842 円
⑥地域個性創出	299,550 円
決算総額	7,930,135 円

地域づくりの活動方針 (テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

総括

交付金の活用によって、地域課題が着々寸進ではあるが解決に向かいつつある。今後については地域住民が自ら、新たな地域課題を掘り起し (P)、地域住民が主体となって行動し (D)、検証を行い (C)、解決に向けて行動 (A)する仕組みを構築するために、各部会の適宜開催等、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

概要

①協議会運営	事務局人件費・事務費
②地域振興	組織づくり事業・広報事業・住民アンケート実施事業・JR周年記念イベント協力事業・白石地区町内親睦大運動会運営事業・白石フェスティバル運営事業・町内会親睦支援事業・西京老人だいがく開催事業・ふるさとまつり参加促進事業・白石地区自治会活性化推進事業
③地域福祉	減塩推進事業・ゴミ出しサポート運営事業・白石地区グランドゴルフ大会開催事業
④安心・安全	反射鏡設置等事業・危険防止看板設置事業・安全パトロール事業・危険マップ作成事業・自主防災モデル事業・車椅子、座椅子貸出事業
⑤環境づくり	土木工事 (法定外公共物整備事業) ・環境美化&エコ推進事業・社会奉仕の日、清掃作業
⑥地域個性創出	白石環境マップ作成事業・お宝写真展開催事業・小学生の理科、科学教室開催事業・地区イメージキャラクター創出事業・白石魅力アッププロデュース事業

今年度、重点的に取り組んだ事業

①	視点	役員、理事、構成員、地区住民での意見交換を行い、地域づくりに対して共通の目標を持つことを目指す。		
	事業名	組織づくり事業	決算額	53,160円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>形骸化した部会活動の活性化を図るため各部会の所掌事業を見直し、部会の再編成を行った。</p> <p>(実施時期) 平成25年12月</p> <p>(参加人数) 50人(新しく組織した部会員数)</p> <p>(成果)</p> <p>新しく部会(総務部会、地域振興部会、地域福祉部会、社会体育部会)を立ち上げた。部会の再編により部会の役割が明確になり、部会を中心に事業展開していく仕組みづくりが工夫された結果、各部会でさまざまな地域課題解決にむけた話し合いが活発に行われるようになった。</p> <p>(評価) 各会員団体間において目標等が共有できる部会運営態勢が整った。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>原則、毎月1回各部会会議を開催し、情報等を共有することにより、緊密な連携関係を構築する。</p>		
②	視点	地区住民に対して、自主防災に対する意識づけを継続的に行うことで、自主防災組織づくりへの基礎体制をつくることに繋げる。		
	事業名	自主防災組織モデル事業	決算額	29,000円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>NPO法人ぼうぼうネットから講師を招き、勉強会を開催するなど自主防災組織の醸成を支援した。</p> <p>(実施時期) 平成26年2月</p> <p>(参加人数) 50人</p> <p>(成果) 地域の実情にあった自主防災組織編成や、防災訓練方法について学んだ結果、防災意識が高まり自主防災組織づくりへの共通認識が図れた。</p> <p>(評価) 自主防災組織構成について協議を行う中で住民同士の連帯感が生まれた。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>今後はこれをモデルケースとして、他の町内会へ事例紹介を行い、拡大を図る。現在、東白石町内会が自主防災組織の立ち上げに着手している。</p>		
③	視点	歴史的背景を知ることで、地区のまつりであるという誇り、愛着を持っていただき、参加者を増やすことを目指す。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	16,089円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>祇園まつりの起源(歴史的背景等)について講師を招いて勉強会を開催した。</p> <p>(実施時期) 平成25年6月、7月</p> <p>(参加人数) 50人</p> <p>(成果) 御神輿の担ぎ手が増加した。</p> <p>(評価) 子どもの参加者が少なかった。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>子どもの参加促進を図るため、子ども御神輿の導入等を検討する。</p>		